



2024年4月11日

各位

会社名 株式会社システムインテグレータ
代表者名 代表取締役社長 引屋敷 智
(コード番号：3826 東証スタンダード)
問合せ先 経営サポート本部 経営企画部長 岩井 智史
(TEL. 048-600-3880)

新たな事業（SAP事業）の開始に関するお知らせ

当社は、2024年4月11日開催の取締役会において、新たな事業として「SAP事業」を開始することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業開始の背景・趣旨

当社は、約20年にわたり統合型ERPのWeb-ERPパッケージ「GRANDIT」を展開しておりますが、製造業、商社、IT業を中心に、導入コンサルティングから開発、運用サポートまでワンストップで提供し、これまで延べ200社以上のお客様に導入しています。

一方近年では、「業務の標準化」、「導入期間短縮」、「拡張性確保」、「ガバナンス強化」、「TCO削減」といった効果を早期に期待できるクラウド型ERPへのシフトチェンジも増加しています。

そこで当社は、ますます必要性が高まる「ITモダナイゼーション」実現をかなえる武器として、クラウド型ERPの最適なプロダクトとして「SAP S/4HANA® Cloud Public Edition」の提供を行うことといたしました。これまで当社がGRANDIT導入で培ったERP導入のノウハウを掛け合わせることで、経営に資するIT基盤の提供と、成長を支えるパートナーシップを顧客に提供すべく、新規事業としてスタートいたします。

企業固有の業務要件が競争優位性の源泉で、カスタマイズやアドオン開発によりシステムを業務に合わせたい現場志向の企業には「GRNADIT」、各業界の標準プロセスへの適合性の高いIT・サービス業、カスタマイズやアドオン開発せずに短期導入で早期の導入効果を狙いたい急成長の中堅企業並びにM&Aやグローバルでのビジネス展開を推進する企業には「SAP S/4HANA® Cloud Public Edition」と、それぞれの企業課題に合わせたソリューションを用意することで、日本国内の中堅企業の成長を支援してまいります。

・「SAP S/4HANA® Cloud Public Edition」とは

最新の業種別ベストプラクティスと継続的なイノベーションを提供する、すぐに使えるクラウドERPです。

業界標準のベストプラクティスを取り入れたビジネスプロセスを活用することで、短期間で業務効率化を実現できるだけでなく、組み込みの人工知能 (AI)、機械学習 (ML)、アナリティクスに関するイノベーションが継続的に提供されるため、少ないITリソースで事業の継続的な成長をサポートします。

2. 新たな事業の概要

(1) 新たな事業の内容

「SAP S/4HANA® Cloud Public Edition」の導入

(2) 当該事業を担当する部門

SAPソリューション部

(3) 当該事業の開始時期

2024年4月

(4) 当該事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

現時点において特別に支出する予定はございません。

3. 今後の見通し

当該事業が2025年2月期の業績に与える影響は軽微です。当該事業は中長期的に当社の業績向上に資するものと考えており、当面は3年後の目標としてSAP事業で売上高5億円を目指します。なお、当該事業に係る収支を織り込んだ2025年2月期業績予想値は、4月15日（予定）に公表する決算短信の中で開示する予定です。

以上